

## 審査スケジュール

10.1

本会議で  
決算特別委員会設置

10.16

現地調査

10.19-23

室内審査

10.23

委員会内で採決

11.24

本会議で委員長が報告  
認定について議決

令和元年度予算の  
内容は



どんな議論が行われたの？  
決算の会議録は



国体馬術競技場の整備



霧島高原国民休養地 トイレ新築工事



橋梁長寿命化修繕事業（下小鹿野橋）



植山 利博 議員

### 自主財源の確保は

- Q** 自主財源を確保するためにも、地元企業や産業への支援・育成が重要ではないか。
- A** 地元の企業・産業への支援や雇用につながる企業誘致など市全体で取り組むべきと考えている。



厚地 覺 議員

### 学生就職支援プロジェクト推進事業は

- Q** 22社の工場等見学会に延べ208人の高校生が参加しているが、今春市内に就職した生徒は何人か。
- A** 近隣5つの高校で霧島市内の企業に就職したのは169人である。



徳田 修和 議員

### 日当山地区の生活道路安全対策は

- Q** 日当山地区生活道路対策エリア計画による今後の事業計画は。
- A** 令和元年度から日当山小・中・幼稚園を中心に、通学・通園が安全にできるように事業を実施しており、令和5年度までを予定している。



久保 史睦 議員

### 横川長安寮の効率的運営は

- Q** 入所者数が定員に対して半分以下になっている状況の中で、入所者に対する職員数は適正か。
- A** 入所者22名に対して16名の職員で対応しており、養護老人ホームの設置基準に定めのある人員を確保している。

2146分  
検証!!

# 決算特別委員会

令和元年度決算特別委員会では、お金の使い方が適切であったか、内容や効果、効率性、そして今後の方向性について、延べ2146分かけて審査しました。その一部をご紹介します。



愛甲 信雄 議員

### 今後のまちづくりに向けた成果は

- Q** リノベーションまちづくりの成果は。
- A** リノベーションまちづくり講演会を3回開催し、約300名の参加をいただいた。霧島の課題等について、民間主導で取組をしようという機運の醸成ができた。

※リノベーションまちづくりとは…  
遊休不動産を新たな形で再生することを通じて、市の抱える課題を地域住民とともに解決していく手法。



下深迫 孝二 議員

### 老朽化した市営住宅の解体予定は

- Q** 市営住宅4,546戸のうち、老朽化等で25戸を解体している。今後、何戸の解体を予定しているのか。
- A** 用途廃止及び解体予定を316戸としている。



松枝 正浩 議員

### プレミアム付商品券事業の成果は

- Q** プレミアム付商品券について、利用が4割ほどだが、どのように検証しているか。
- A** 当初予算9億2,500万円のうち使用は2億8,200万円であった。低所得、子育て世帯が対象であり、自己資金の中から商品券を購入する人が少なかった。



川窪 幸治 議員

### 救急救命士育成など、職員の資質向上は

- Q** 救急救命士育成など、職員の資質向上を図るための経費はどの程度かかっているのか。
- A** 救命士の養成にかかる経費は、6か月間の研修と試験、病院等での就業前教育まで含めると、概ね300万円から350万円ぐらいである。

## 決算特別委員会とは

各会計の歳入歳出の決算を審査することを目的に設置される委員会

- ◎前島 広紀 ○久保 史睦 山口 仁美 松枝 正浩  
川窪 幸治 愛甲 信雄 徳田 修和 松元 深  
厚地 覺 植山 利博 下深迫孝二 前川原正人

◎委員長 ○副委員長



決算特別委員長  
前島 広紀